

令和5年度（2023年度）根室圏域地域保健・職域保健連携推進連絡会

日時 令和6年（2024年）2月29日（木）16:30～17:30

Web（Zoom）開催

出席者 21名（内 事務局5名）別紙出席者一覧のとおり

- 議題
- 1 「協会けんぽの保健事業について～根室圏域の現状と課題～」
 - 2 釧路署管内の有所見率の現状について
 - 3 根室圏域の健康課題について（地域保健から）
 - 4 北海道の健康づくり推進事業の取組について
 - 5 地域・職域連携推進事業について

議事

- (1) 「職域保健における健康づくりの取組みについて」～健康経営から始める健康づくり～（資料1）

全国健康保険協会北海道支部企画総務部企画グループ 主任 諸原 悠輔 氏

- ・根室圏域の加入者の皆様については男女ともに肥満・代謝・脂質血圧リスクが高く、喫煙率も高い状況で、生活習慣病リスクがとても高い状況。
- ・健康経営とは従業員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践すること。
- ・健康経営では従業員の価値向上のために、従業員の健康を促進することを目指している。
- ・2030年には労働人口が644万人不足すると予測されており、対応策としては、生産性を上げること、働くシニア・働く女性・働く外国人を増やし、不足人口を補填するという考え方がある。
- ・従業員が働き甲斐をもって生き生きとした職場は生産性が向上するだけでなく離職率の低下にもつながると言われている。
- ・健康経営を推進する中小企業が実感している効果は、上位から、従業員の健康状態の改善、ヘルスリテラシーの改善向上に次ぎ、企業ブランドのイメージ向上など幅広い効果を感じられている。
- ・近年、新卒の採用の際には、企業が従業員の健康や働き方にどのような考えをもっているかを重きに置く学生が増えているため、新たな人材の確保においても「健康経営」に取り組むということは重要となっている。
- ・協会けんぽ北海道支部では、健康経営に取り組むことを宣言（健康事業所宣言）された事業所のバックアップする事業を2015年より開始し、現在では北網圏域の144社を含む、3,000社を超える事業所が参加している。
- ・地域経済の発展のためにも経済団体、自治体、保険者の連携による健康づくりが重要である。

- (2) 釧路署管内の有所見率の現状について（資料2）

釧路労働基準監督署第三方面主任監督官 藤澤 徹明 氏

- ・令和4年度の釧路署管内に定期健康診断における業種別有所見率は68.7%となっている。
- ・健康診断項目の有所見率全体は、全国58.3%、全道62.5%、釧路署管内68.7%と全国・全道より高い。
- ・項目別に見ると、血中脂質、血圧、肝機能などが比較的高い。
- ・平成28年頃の有所見率は、60%前後だったが、令和4年は68.7%と70%近くまで高まっている。
- ・業種別有所見率では、建設業、運輸交通業が高くなっている。
- ・厚生労働省や民間の調査では、建設業、運輸交通業は、喫煙率が高いなど、一定の相関関係が認められると考える。

- (3) 「別海町の肥満の現状について」（資料3）

別海町保健課健康づくり担当 主幹 島澤 みどり 氏

- ・幼児期の肥満割合は資料のとおり、極端に伸びてはいないが、出生が年々減り、健診対象数が減ってい

るので数名太りぎみになるとパーセンテージに影響してしまう。

- ・児童・生徒の肥満割合は、どの学年も全道、全国を上回っている。
- ・全国のおよそ2倍以上の肥満出現率となっている。
- ・小学生から高校生までの10年間の肥満度出現率の推移を見ると、高校生は概ね横ばいだが、その他は上昇している。
- ・成人の20歳以上の肥満度出現率の推移を見ると男女ともに全国レベルを上回っている。(コロナ禍前)
- ・コロナ禍以降では、男性の肥満度出現率が上昇し、2023年の50歳代の男性は6割を超える肥満度出現となった。
- ・コロナ等感染症で健診後の面接介入が減ったことで悪化したので、対面での保健指導介入が不可欠だと実感した。
- ・1市4町でBMI25以上の割合を見ると中標津町を除いて、男性の肥満は多い。
- ・男性の肥満を年代別に見ると、中標津、別海、標津町は40～64歳の肥満が多く、根室市と羅臼町は65～74歳の肥満が多くなっている。
- ・女性の肥満を年代別に見ると、根室市、中標津町は40～64歳、別海、標津、羅臼町は65～74歳の肥満が多くなっている。
- ・肥満の問題は根室管内共通の課題であると思うので、引き続き肥満対策の継続が必要だと考えている。

(4) 「すこやか北海道21」を推進するための根室圏域健康づくり事業行動計画について(資料4～7)
事務局から資料説明(早坂主査(健康増進):中標津保健所)

- ・北海道の健康増進計画である、第3期「すこやか北海道」を策定中であり、3月に完成する予定。
- ・道民を始め、関係機関、関係団体等が連携を図りながら、それぞれ取り組みを進めていく計画となっている。
- ・健康増進計画は、各市町村もそれぞれ自分たちの町の計画を策定しており、同じ方向で健康づくりを推進している。
- ・根室圏域においては、喫煙率が高い、肥満が多い、多量飲酒の割合が高いなどと言った地域特有の生活習慣に関する課題があり、肺がんや脳血管疾患、心疾患の死亡率が高い現状。
- ・このような地域の現状を踏まえ、地域に応じた健康づくりの推進を関係機関、団体等と連携を図りながら取り組んでいきたいと考えている。

(7) 意見交換

●事務局から説明(早坂主査(健康増進):中標津保健所)

- ・一人でも多くの方に自分の健康は自分で守ると言う意識を持っていただくため、けんしんを受診してもらい、自分の健康状態の関心を高めることが大切ではないかと考え、けんしん受診を啓発するリーフレット(案)を作成。
- ・リーフレットについては、各機関において、配布等の協力願う。

●意見:全国健康保険協会北海道支部企画総務部企画グループ 主任 諸原 氏

- ・リーフレットで禁煙外来が一覧で紹介されているのは参考になる。

(8) 連絡事項

事務局から説明(早坂主査(健康増進):中標津保健所)

- ・次期根室圏域健康づくり事業行動計画策定するため、根室圏域健康づくり事業行動計画推進会議を開催する。